

飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果

- 1 点検及び評価を行った期日 令和2年8月24日（月）
- 2 点検及び評価の会議を行った場所 飛騨市役所西庁舎3階 大会議室
- 3 点検及び評価を行った会議 令和2年第7回教育委員会
- 4 点検評価委員（7名）
古川西小学校学校運営協議会委員、 神岡中学校学校運営協議会委員、 飛騨市PTA連合会会長、 同母親代表
社会教育委員の会委員長、 飛騨市文化協会長、 飛騨市体育協会長
- 5 点検及び評価を行った会議に出席した者
（飛騨市教育委員会）
教育長 沖畑 康子、 委員 田口 力三、 委員 平澤 千人、 委員 牛丸 洋子

（説明のため出席した飛騨市教育委員会事務局職員）
事務局長 谷尻 孝之、 教育総務課長 米澤 智、 学校教育課長 中村 裕幸、
生涯学習課長 大庭 久幸、 スポーツ振興課長 大始良 透、 文化振興課長 畑上 あづさ
- 6 点検及び評価の対象事務
飛騨市教育委員会の権限に属する令和元年度の事務
- 7 点検及び評価の方法
飛騨市教育委員会事務点検評価実施要領（平成21年飛騨市教育委員会訓令第1号）第3条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第1次評価した「飛騨市教育委員会事務点検評価資料」により、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第2項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務点検評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する者からの意見聴取を行った後、令和2年8月27日開催の令和2年第7回教育委員会において、令和元年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った。

8 飛騨市教育委員会が飛騨市教育委員会事務点検評価委員会に意見聴取を行った期日及び場所

第1回 期日 令和2年8月5日(水)

場所 飛騨市役所西庁舎 3階 大会議室

第2回 期日 令和2年8月24日(月)

場所 飛騨市役所西庁舎 3階 大会議室

9 飛騨市教育委員会事務点検評価委員会の飛騨市教育委員会に対する意見

飛騨市教育委員会の権限の属する令和元年度事務の点検及び評価については、飛騨市教育委員会事務局各課が行った第1次評価のとおりであることを認める。

10 点検及び評価の結果

別紙「令和2年度飛騨市教育委員会事務点検評価結果」のとおり

令和2年飛騨市教育委員会事務点検評価結果

令和元年度教育委員会の活動状況 点検評価シート

令和元年度事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

点 検 評 価 シ ー ト の 目 次

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	事 業 番 号
教 育 総 務 課	教育委員会会議の状況、調査活動の状況等	A	1
	小中学校施設整備事業	A	2
	飛騨市育英基金貸付事業	A	3
	スクールバス運営事業	A	4
	学校給食運営事業	A	5
学 校 教 育 課	飛騨市学園構想の推進	A	6
	I C Tを効果的に活用した授業づくり	A	7
	小学校英語教育の推進	A	8
	保小中連携教育の推進	A	9
	ふるさと教育推進事業	A	1 0
	児童生徒支援員の研修	A	1 1
	部活動備品購入・大会出場への支援	A	1 2
生 涯 学 習 課	社会教育推進事業	A	1 3
	飛騨市青少年育成推進事業	A	1 4
	公民館管理運営事業	A	1 5
	各種講座・学級の開催事業	A	1 6
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ推進委員活動事業	A	1 7
	スポーツ団体育成事業	A	1 8
	スポーツ行事推進事業	A	1 9
	ウォーキング推進事業	A	2 0
	スポーツ施設整備事業	A	2 1
文 化 振 興 課	図書館機能の充実事業	A	2 2
	飛騨市美術館運営事業	A	2 3
	地域歴史資源活用事業	A	2 4
	地域文化振興補助事業	A	2 5

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1)

飛騨市教育委員会

項 目		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
教育委員会 会議の状況	会 議	【開催回数】 9回（定例会） 【審議件数】 議案 22件、報告 4件 承認 27件、合計 63件	学校教育を始めとする教育全般について、事業内容、予算、教育委員会規則改正等、教育事業に必要な議題について、多様な議論を重ね、審議することにより、教育行政の質の向上につながった。	A
	協議会	【開催回数】 9回 【主な内容】 ・飛騨市スポーツ施設条例の改正について ・飛騨市育英基金貸付事業について ・各種後援名義等の使用許可報告について ほか	各種教育関連事業の現状や結果の報告を行い、それを踏まえた協議を重ね、市が目指す教育行政について、より良い方向付けができた。	
	事務点 検評価 委員会	【事務点検評価委員会の開催】 ・日時 令和元年8月7日、27日 2回開催 ・内容 教育委員会事務局が行った第1次評価に対する審議と意見聴取 【事務点検評価の最終評価】 ・令和元年8月30日開催、第7回教育委員会において最終評価 ・議会への報告 令和元年9月2日	教育委員会の事務事業の内容について、第三者で構成する点検評価委員会により審議を行うことで課題について改めて確認でき、教職員の職務軽減を目指した部活動指導員の導入や学校空調設備等の次年度の施策につなぐことができ、教育行政の質の向上を図ることができた。 また、評価結果の市議会報告並びに市ホームページ掲載により、教育委員会の活動状況について周知を行うことができた。	
調査活動の状況等		・小中学校の入学式、卒業式への参列 ・小中学校の学校訪問、運動会、体育祭の参観 ・教育委員研修（白川村立白川郷学園、砺波市美術館）	授業参観や学校行事への参加により、教育現場での児童生徒や教職員の様子を視察することにより課題等の把握でき、先進地視察では実例を見聞することで、新規事業等に対する理解を深め審議の材料とすることができ、教育行政振興に資する取り組みができた。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 2)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
快適な教育環境の整備	学校施設の整備	<p>小中学校施設整備事業</p> <p>小中学校体育館非構造部材耐震化事業</p> <p>各小中学校の体育館について、天井材や照明設備等の非構造部材の耐震化を図る。</p> <p>学校空調設備整備事業 昨今の猛暑を受けて市内小中学校の空調設備整備を行う。</p> <p>神岡小学校大規模改修事業 昭和61年建設の神岡小学校校舎の老朽化が顕著となったため、大規模改修工事を計画する。</p>	教育総務課	<p>【決算額】</p> <p>○小学校体育館非構造部材耐震化事業 (H30年度予算, R1 繰越事業) 78,480 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川小学校体育館非構造部材耐震化工事 42,400 千円 ・神岡小学校体育館非構造部材耐震化工事 36,080 千円 <p>○小中学校空調整備事業 (H30年度予算, R1 繰越事業) 250,381 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校7校の全普通教室78室に空調設備を整備。 	<p>計画に基づき令和元年度に予定していた古川小学校、神岡小学校の二校の耐震化工事について、H30年度国の補正予算措置を受けて令和元年度に施工した。</p> <p>国の特例交付金を活用し小中学校に空調設備を整備した（令和元年度）。</p> <p>特別教室への空調設備設置については、環境や使用状況等を把握し、その必要性を検討していく。</p> <p>神岡小学校大規模改修工事については外壁にアスベストが含まれていることが判明したため、工事の時期や工区を再検討することから、建設計画の見直しを行い、外壁工事・屋根改修主体の工事に教育環境の整備も併せて、令和3～4年度の実施に向けて協議を重ねる。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 3)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域が 一体とな った青年 健全育成 の推進	将来を担 う人材育 成（飛騨 市育英基 金貸付事 業）	<p>飛騨市育英基金貸付事業</p> <p>飛騨市の将来を支える若者が、経済的理由により就学をあきらめることなく、勉学に励むことができるよう貸付事業を実施する。</p> <p>○拡充制度の実施 学費が賄えず進学を断念する優秀な若者を支援するため、低所得者世帯等がより利用しやすい制度を実施する。</p>	教育 総務課	<p>〔決算額〕</p> <p>R1 末基金総額 449,700 千円</p> <p>R1 年度寄付金増資 100 千円</p> <p>貸付総額 258,598 千円</p> <p>現 金 191,102 千円</p>	<p>令和元年度は左記の貸付を実施し、貸付者全体では、やや減少傾向にあるものの、平成 29 年度に制度拡充した低所得者層に対する支援をより一層厚くする償還免除型の対象者は平成 29 年度 3 名、平成 30 年度 6 名と倍増し、令和元年度には 23 名と事業拡充の効果が認められた。</p> <p>大学所在地からの遠隔地出身者にとって、自宅外通学経費や卒業後の生活費も大きな負担になっている。</p> <p>飛騨市では国の奨学金制度に比べ、所得判定基準を低く設定し対象者を多少絞っているが、その中でも低所得者層に対する支援として卒業後の地元就職者は全額免除、その他は半額免除とし、実質給付型となる償還免除制度を導入している。成果としては、その貸与生が、地元に戻り、育ててくれた親や地域を支え、また地元を思い各地域で活躍する人材となることが期待される。</p>	A
				<p>R1 貸付額 54 件 31,680 千円</p> <p>貸付件数 54 件の内 新規案件 20 件 償還免除対象 23 件</p> <p>R1 償還額 163 件 49,293 千円</p>		

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 4)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価	
				実 績	成 果・課 題		
快適な教育環境の整備	スクールバスの整備運営	<p>スクールバス運営事業</p> <p>市有バスによる小中学生における通常登下校の輸送のほか、プールや部活、補完学習日等の輸送や少子化に伴う乗車児童生徒の減少に合わせたタクシー送迎も取り入れて適正な輸送を実施する。</p>	教育総務課	<p>【決算額】 88,983 千円</p> <p>○スクールバス運行委託 74,759 千円</p>	<p>一年間安心・安全なスクールバス運行に努め、大きな事故も無くスクールバスとしての役割を果たすことができた。通常の登下校に加え、夏休み中のプールバス、部活、各学校の補完学習日の登下校にスクールバスを運行し、通学の需要に対応した。また、コロナ感染症対策関連としては運行委託事業者に対し学校臨時休業による3月のスクールバス運休補償の協議を行った。(R2年度6月補正予算対応)</p>	A	
		<p>空きバスを利用したフリーバス事業は、市民の社会教育活動等に活用する。</p>		<p>○フリーバス運営事業</p> <p>・利用回数 22回 利用人数 520人</p>			<p>フリーバスの運行については、予備バスを有効活用し需要に対応しているが、台数に限りがあるため、今後も対応可能な範囲で社会教育に活用していく。</p>
		<p>スクールバス更新事業は、老朽化したスクールバスを更新基準（購入後15年以上経過・走行距離20万km以上）に従い、更新購入し、安全・安心な通学手段を確保する。</p>		<p>○車両購入費 13,165 千円</p> <p>・29人乗りマイクロバス 1台 （古川7号車）</p> <p>・14人乗りワゴン車 1台 （宮川3号車）</p>			<p>運用車両の更新について、更新基準に基づき車両の更新を行い、児童生徒の通学環境の確保を行った。今後も順次更新を進めていく。</p>

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 5)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供	安全・安心な学校給食の提供、学校給食施設の整備運営	学校給食運営事業 安全・安心な学校給食の提供	教育総務課	○安全・安心な学校給食の提供 【決算額】 141,943 千円 (主な内訳) ・人件費(給与、賃金(8人)) ・燃料費、光熱水費 ・古川給食センター負担金(給食延べ食数) 神岡給食センター 98,050 食 河合給食センター 13,047 食 山之村小中学校 6,064 食 (参 考) 古川国府給食センター 221,141 食 (古川町部分のみ)	食中毒等の大きな事故が無く、安心・安全でおいしい給食を提供できたことが一番の成果である。アレルギー対応食は生命の安全に関わる業務であるためセンターと学校の連携をとり提供できた。 学校と協力し「食の大切さ」について学ぶ機会を設けた。また、H30 年度と同様、農業振興課と協働で「ふるさと給食の日」を実施し、子どもたちに地産地消の大切さを学んでもらうことができた。 近年、調理員不足が課題となっており、抜本的な改善が求められている。業務委託等を含め引き続き検討する。 日々のメンテナンスはもとより、早め早めの修繕や部品交換により、衛生上及び作業上の安全性を高めた。	A
		食育・地産地消の推奨		○給食施設の設備更新 【決算額】 997 千円 山之村食洗機及びシツク購入 759 千円 山之村ガステーブル更新 238 千円		
		学校給食施設の整備運営		○給食費特別会計 【決算額】 29,452 千円		

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 6)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p>飛騨市学園構想の推進</p> <p>市内全ての保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を一つの大きな「飛騨市学園」と見立て、①「課題解決能力を育む」保小中高特一貫カリキュラムの作成と試行実施、②学校と家庭・地域が飛騨市の子どもたちの育成について目標やビジョンを共有し、連携・協働するためのコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入、③各校種間交流等の実施の3本柱を掲げ、構想の実現を目指す。</p>	学校教育課	<p>【決算額】 3,135千円</p> <p>○<u>飛騨市学園構想検討委員会</u>（委員30名） 年11回開催 4/24 ①学園構想について 5/17 ②検討委員会グループ対話 6/13 ③市の目指す子供像・人間像 7/10 ④浦崎教授講話 8/21 ⑤ビジョン骨子検討 9/18 ⑥教育長提案（未来の創り手像） 10/16 ⑦新谷さゆり氏講話 11/13 ⑧2部会に分かれて検討 12/12 ⑨各校区で開催 1/22 ⑩各校区で開催 2/12 ⑪各校区で開催</p> <p>○<u>飛騨市教育フォーラム</u> 「まなびみらい会議2019」9/28 ・講演会：長田徹氏（文部科学省） ・グループ対話</p> <p>○<u>飛騨市学園リーフレット完成</u> 3/23 市長報告</p>	<p>○令和元年度は、地域、学校関係者とともに、飛騨市学園構想全体のビジョンやコミュニティ・スクールの導入、保小中高特をつないで課題解決能力をつけるカリキュラム等の検討を行った。さらに、リーフレットを作成して広く周知に結び付けた。</p> <p>○飛騨市学園構想プロジェクトマネージャーを1名配置し、学識経験者や地域住民からの意見聴取や各校区の取組状況の把握等を行うことで、学校関係者だけでなく広く地域住民の思いや考えを踏まえたビジョンを作成した。</p> <p>◎令和2年度は、推進委員会を年7回開催する。課題解決型カリキュラムは、「飛騨市で育つ子どもたちにつけたい力」をベースに、具体的なモデルを作成しながら、各学校のカリキュラムに落とし込み試行実施につなげる。また、学校運営協議会の推進体制を強化・充実し、地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動の実施を進める。以上を、各校区の取組状況を報告し合い、情報共有を図る。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 7)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p>ICTを効果的に活用した授業づくり</p> <p>本事業では、児童生徒用タブレット型PC、電子黒板、デジタル教材(教科書)を整備し、これからのICTを効果的に活用した授業づくりをすることにより、児童生徒が自らの問いや願いをもち、対話を通して学びを深める授業づくりを推進し、自ら学び未来を切り拓くことのできる人づくりを目指す。併せて、耐用年数が過ぎた教員用PCの更新を行う。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 78,301千円</p> <p>○<u>小中学校ICT環境整備事業</u> 70,777千円 ・電子黒板(固定式プロジェクター型) ・無線LAN環境、授業用PCを整備 ※小中学校の普通教室54室に整備(小4以上と中全学年の普通教室) ・学習支援ツール ※小学校4教科(国・社・算・理)、中学校5教科(国・社・数・理・英)のデジタル教材(教科書)を導入</p> <p>○<u>教員用PC更新導入事業</u> 7,524千円 ・教員用校務PC(84台) ・メール用PC(6)、図書館用PC(6) ・教員用プリンター(3)</p> <p>○<u>飛騨市指定公表会(河合小)R2.1.30</u> ICTを効果的に活用した授業づくりの具体的な実践について研修することができた。(市内小中学校の全教員参観)</p>	<p>○各小中学校において、タブレット型PC更新、小学校4年生以上の普通教室に電子黒板とWi-Fi環境を整備、デジタル教材(教科書)の導入等、ICT環境整備を進めることができた。これからの整備により、ICT機器を効果的に活用する授業づくりが進んだ。授業では、児童生徒が多様な意見にふれ、活発な意見交流をするなど、思考・判断・表現力を高めることができ、自らの考えをより広げ深めることができた。</p> <p>◎令和2年度は、国の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に一人一台のタブレット端末の整備と、小中学校の校内LANの高速大容量化を図り、更なるICT環境整備を進める。こうした環境をより活用した授業づくりを進め、児童生徒が、直面する課題を主体的に解決するために必要な「課題解決能力」や「情報活用能力」等を育成する。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 8)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p>小学校英語教育の推進</p> <p>英語指導講師の配置や小学生の英語体験学習の実施により、発音・語彙・文法等の間違えを恐れずに積極的に英語を使ってのコミュニケーションを図ることができる児童の育成を目指す。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 4,601千円</p> <p>○<u>英語指導講師2名配置</u> 市内5小学校に週1～2日配置</p> <p>○<u>小学校英語教育指導力研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川小 6/24 2/7 ・古川西小 6/10 9/30 ・河合小 6/13 6/20 ・宮川小 6/28 10/21 ・神岡小 7/11 10/15 ・山之村小 6/12 11/28 <p>※授業参観→指導助言 ※示範授業→指導助言</p> <p>○<u>英語体験活動「わくわく英語体験教室」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/30 古川町公民館・児童38名参加 <p>子どもたちは、ALT（外国語指導助手）3名と英語講師と共に、オールイングリッシュで1日活動した。ゲーム遊びなど様々なプログラムにいきいきと取り組み、英語でコミュニケーションすることの楽しさ、面白さを実感することができた。</p>	<p>○令和元年度に前倒しで授業時間数を完全実施（小3・4年：35時間、小5・6年：70時間）し、発音・語彙・文法等の間違えを恐れず、積極的に英語を使ってコミュニケーションができる児童の育成のために、市内6小学校英語教育の専門講師による出前研修を実施した。児童は、オールイングリッシュで、積極的に授業参加できるようになり、教員の指導力向上も図ることができた。さらに、英語体験学習では、児童が様々な人と語り合うことを大切に活動を取り入れた。この活動で、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図る児童の育成につなげることができた。</p> <p>◎令和2年度では、英語授業の充実を目指し、教員や英語指導講師、ALTを指導する英語教育指導員を配置する。この指導員は、①学級担任と英語指導講師の授業を参観し改善点等の指導助言。②英語指導講師とともにモデル授業と教員研修の実施。③学級担任とALTとのつなぎ役。を行う。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 9)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>保小中連携教育の推進</p> <p>保育園・小学校・中学校の12年間を見通した一貫性のある指導により、保小中の生活面・学習面の指導・取組みについて、早期からの教育支援を行い、個に徹した指導の充実や不登校児童生徒の未然防止を図る。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 187千円</p> <p><u>○小中連携教育推進委員会の実施</u> <委員11名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者 橋本治 岐阜大学大学院教授 ・校長代表、保育園長代表2名、教頭代表 主幹教諭、教務主任代表 ・事務局：教委3名、子育て応援課1名 <p>※第1回 5/9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会の趣旨説明 ・保小中連携の取組の現状、課題交流 ・橋本教授より指導、助言 <p>※第2回 9/3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小中連携の取組の現状、課題交流 ・リーフレット、スタートカリキュラムについての意見交流・訂正修正作業 ・橋本教授より指導、助言 <p>※保小中連携教育合同研修会 9/3 講話「いじめ・不登校・支援の必要な子への対応 ～保・小・中の連携を通して～」</p> <p>※第3回 1/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市版リーフレット、スタートカリキュラムの活用について ・保小中連携の取組の現状、課題交流 ・橋本教授指導、助言 <p><u>○小学校新1年生保護者向けリーフレット</u> ※年長児親子（300部配布）11月</p>	<p>○令和元年度では、保小中連携教育推進委員会を年3回実施し、飛騨市版アプローチ・スタートカリキュラムの実施・検証・修正を行い、保護者向けリーフレットを作成し、保護者に配付した。家庭・保育園・小学校が連携して入学の準備に取り組める環境を整えることにつながった。</p> <p>○リーフレットや飛騨市版アプローチ・スタートカリキュラムを通じて、保育園・学校・教育委員会が保小の円滑な接続について具体的に取組みを交流して、検証、修正を進めることができた。</p> <p>◎令和2年度では、さらに推進し、小学校から中学校への円滑な接続のために、小中学校の交流を増やすとともに、小中学校の職員による情報交換会を定期的の実施する。また、推進委員会において飛騨市としての小中連携の取組方針や配慮事項をまとめ、具体的な取組みを進める。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号10)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p>ふるさと教育推進事業</p> <p>子ども達のふるさと飛騨市における様々な活動（体験・参加・貢献活動等）を通じて、郷土に生きる人々の思いや生き方、その価値を学び、ふるさとを愛する心を育む教育を実現するために、各小中学校の学校経営方針に基づき、地域や学校の特色を活かして地域に根ざした「ふるさと教育」を推進する。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>【決算額】 4,493千円</p> <p><u>○各学校活動実施内容（主なもの）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川小学校 ※ふるさと町探検、古川町での白川郷学園との交流、米づくり体験 ・古川西小学校 ※カミオカラボ、史跡江馬氏館見学、果樹園・紙漉き等体験学習 ・河合小学校 ※飛騨かわいいなか～にばるでの発表、地歌舞伎、防災キャンプ ・宮川小学校 ※ナチュール宮川宿泊体験、民話劇発表、職場体験 ・神岡小学校 ※古川まつり会館、匠文化会館体験、春慶塗・吉田太子踊り体験 ・古川中学校 ※吹奏学部地域応援隊、地域社会人職業講話、ふるさと版画作品 ・神岡中学校 ※地元企業体験ワークショップ、ふるさと演劇教室 ・山之村小中学校 ※船津座公演(山っこ獅子・きつねつり)、寒干し大根づくり 	<p>○令和元年度では、飛騨市学園構想推進の目玉であるコミュニティ・スクール導入に合わせ、地域との連携・協働を意識した取組を進めた。これまで校内での学習発表会を地域の行事と合わせて行うこと等、工夫された。また、校区外や市外での活動から、ふるさとのよさを再発見する取組も実施された。（メディア掲載実績：計8回）</p> <p>◎令和2年度では、飛騨市学園構想の推進の重点として取り組む保小中高一貫カリキュラムの作成を踏まえ、地域の課題を見つけて主体的に取り組む課題解決型学習のサイクル（課題設定→情報収集→整理分析→まとめ・分析）を大切にして課題解決能力を育むという視点で、ふるさと学習のカリキュラムの見直しを図る。さらに「ふるさと教育」の推進に向けて、これまで以上に広報活動や発表の場の工夫に努める。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号11)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>児童生徒支援員の研修</p> <p>市内の小中学校に児童生徒支援員を配置し、様々な支援を必要とする児童生徒に対して学習面・生活面の活動を支援し、その子の困り感の軽減を図り、落ち着いて活動に取り組むことができるようにする。</p> <p>児童生徒支援員がさらに個に応じた適切な支援を行うために、児童生徒の発達段階や困り感を理解するための知識や資質を向上させる研修の充実を図る。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 195千円</p> <p>○<u>児童支援員研修</u> ※<u>全体研修会</u> 児童生徒理解と支援の在り方についての研修を実施 ・5/9 全体研修会① 19名参加 ・1/17 全体研修会② 21名参加</p> <p>※<u>各校内研修会</u> 児童生徒支援員の資質・能力向上のために、各校の実態をふまえて支援の在り方の研修 ・5/15 河合小・宮川小 ・6/3 古川小 ・6/4 古川中 ・7/1 神岡中 ・7/2 古川西小 ・9/4 山之村小中 ・9/30 神岡中</p>	<p>○令和元年度では、各学校に専門講師（岐阜大学大学院 橋本治 教授）を派遣して、全体研修で学んだ理論（特別な支援を必要とする子への指導「対処」「支援」「自覚」の在り方）を踏まえた各学校の実態や実践を基に事例研修を実施し、対象の児童生徒に対してより個に応じた適切な支援をすることにつなげることができた。</p> <p>◎各学校での事例研修における、専門講師による指導助言は、児童生徒支援員の日頃の支援における課題に直結し、大変効果がある。児童生徒の「困り感」の多様化、複雑化もみられることから、令和2年度では、各校内研修会の回数を増やすことやよりニーズに対応する研修内容の検討を進める。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号12)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>部活動備品購入・大会出場への支援</p> <p>各部活動で予選大会等を勝ち抜き上位大会(岐阜県大会以上)へ出場する際の一部補助するとともに、それ以外の大会出場及び遠征実施も一部補助することで、保護者や個人の負担を軽減し、出場選手が不安なく練習・試合に取り組める環境を整える。</p> <p>さらに、吹奏楽部所有楽器について計画的な整備を進めるべく支援を行い、保護者の費用負担を軽減・部活動の活性化を図る。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 4,464千円</p> <p>◎大会出場への支援(2,499千円)</p> <p>◎岐阜県大会以上の出場補助 出場選手及び引率者1名分の交通費(バス借上料、道路通行料等)、宿泊費、傷害保険料、大会参加料の一部を補助する。(県大会及び東海大会出場：補助率1/2以内、全国大会出場：補助率8/10以内)</p> <p>※補助対象：30件(前年比+10件) (県大会24、東海大会4、全国大会2)</p> <p>◎上位大会(岐阜県大会以上)以外の大会出場及び遠征実施補助 出場選手及び引率者1名分の交通費(バス借上料、道路通行料等)の一部を補助する。(補助率1/2以内)1部活動：年間2回まで</p> <p>※補助対象：16件(前年比-4件) (協会主催等の大会出場5、遠征11)</p> <p>◎部活動備品購入(1,965千円)</p> <p>◎吹奏楽部 楽器購入 古川中 ペダルティンパニー2 神岡中 チューバ1、トランペット2</p> <p>※令和元年度吹奏楽県大会 古川中・神岡中：金賞受賞 ※東海吹奏楽コンクール 神岡中：最優秀の朝日新聞社賞受賞</p>	<p>○県大会以上の大会に加え県大会以外の大会出場や遠征の際の交通費の一部補助について、部活動育成会や保護者の認識が深まり、年間を見通して計画的・有効的に活用されるようになった。その結果、保護者の負担を軽減することにつながった。</p> <p>○平成30年度より拡充された吹奏楽部楽器購入は5年計画の整備2年目である。古い楽器の買い替えを進め、部活動の活性化・保護者の負担軽減に大いにつながった。</p> <p>◎補助事業について、これまでの実績を部活動顧問並びに育成会が把握し、計画的に有効活用できるようにする。年度途中における予算執行の見通しが立てにくい課題を踏まえて、各中学校と育成会と連携し情報共有を進め、本事業の内容を周知する。また、吹奏楽部の楽器について、今後も部活動顧問と連携して早い時期に買い替えができるようにする。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号13)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担 当 課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域に根差した人づくりの推進	社会教育関係団体との人材の育成	<p>社会教育推進事業</p> <p>社会教育法に基づき、幅広い年齢層に対応した各種生涯学習事業の実施に努め、市内の普及浸透に努める。</p> <p>また、社会教育委員から各種の社会教育事業に対する意見等をいただき、可能なものから事業に反映させ内容の充実等を図り、市民が目標を持ち自主的に学習する意欲の向上を図ります。</p>	生涯学習課	<p>〔決算額〕 1,420千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員兼公民館運営審議会(12名)会議を開催 計3回 社会教育委員を子育てネットワーク部会、青少年健全育成部会、文化芸術振興部会、生涯スポーツ部会の4部会に分け、各部単位で市内の各種団体の長を招へいし、抱える課題解決に向けた意見交換を行った。 ・飛騨地区及び県社会教育委員連絡協議会等 計7回 ・家庭教育学級(小中学生と保護者対象)市内各小中学校のPTAが中心となり実施 実施回数：延べ58回(8校) <p>親子講演会、親子料理教室、親子SNS講演会：我が家の約束をつくろう、保護者対象研修会、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年に引き続き、更なる生涯学習の普及浸透を目指し、部会単位で関係団体の長との意見交換を行い、現状や課題を共有することができた。 また、社会教育委員研修会等にて他市町村で実施している推進事例を参考に、社会教育の推進リーダーとして、生涯学習のまちづくりに向けた活動を実施した。 ・昨今、社会情勢の変化を受け、子どもを取り巻く状況が大きく変わったことから家庭教育の重要性が唱えられている。 そこで家庭教育学級では、学校の授業では教えることができない正しい生活習慣の習得や豊かな情操心、他人に対しての思いやりなど、子供たちの成長と共に身に付けてもらいたいテーマを取り上げ、講演会等を開催し、学習することができた。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号14)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域ぐるみで子どもを育む活動の推進	地域が一体となった青少年健全育成の推進	<p>飛騨市青少年育成推進事業</p> <p>○飛騨市成人式の開催 成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする成人たちを祝い、励ます趣旨の式典を開催する。</p> <p>○青少年育成推進員活動 推進員の協力を得て、家庭・学校・地域の連携強化を図り、市内の青少年健全育成への機運を高める。</p> <p>○「少年の主張大会」を開催することで、次代の担い手が自分の考えを大勢の聴講者の前で堂々と述べる力を付けることを目的に実施する。</p> <p>○子ども会は地域単位で構成し、おのおのの活動を通じ、当該将来の地域の担い手となる青少年を育成します。</p>	生涯学習課	<p>〔決算額〕 2,257千円</p> <p>○飛騨市成人式の開催 開催日：令和2年1月3日 (古川会場) 出席者：145名 (神岡会場) <u>出席者：76名</u> 計：221名</p> <p>○青少年育成推進員活動事業 推進員(23名)は地域連携のための青少年育成連絡協議会を組織し、各町の部会単位で育成活動を実施した。 ・古川部会5回、第25回ふれあい集会を開催 ・河合部会2回、地域行事での啓発活動実施 ・宮川部会1回、地域行事での啓発活動実施 ・神岡部会2回、挨拶運動、夜間巡回、イベント時に合わせ啓発活動を実施</p> <p>○飛騨市少年の主張大会の開催(6/9) 小中学生16名の発表者の内、上位大会の飛騨地区選考会へ飛騨市の代表として2名推薦した。</p> <p>○子ども会活動の充実を目指し、育成連絡協議会を通じ、単位子ども会の運営及び活動費の一部を支援した。単位子ども会数：64団体、子ども数：1,497人</p>	<p>・成人式は、古川と神岡の2会場で実施し、新成人を祝い、励ますとともに式典後には、成人者間の交流のタイムを設けるなどの工夫を凝らし、出席者から好評を博した。また、後日「記念アルバム」を配布し、新成人及び保護者に喜んでいただけた。</p> <p>・青少年育成推進委員は、旧4町単位に家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成に向けた集会の開催や地域行事に参画し、啓発活動を実施することで市内の気運向上を図ることができた。</p> <p>河合町のいなか～にばる、宮川町の文化祭、神岡では飛騨獅子まつりなど、各地域イベントに出向き、ブースを設営させてもらい、来場者に啓発チラシ等を配布し、青少年の健全育成について理解を求めた。地域住民に広く啓発したことで、地域住民の青少年に対する意識が芽生え、地域のおじさん・おばさん運動員の登録を増やすことができた。</p> <p>・子どもたちは、会の活動を通じ、豊かな情操や仲間との連帯感を育むことができ、将来の担い手としての人格形成に寄与することができた。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号15)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
学び・集い・つなぐ生涯学習環境づくり	生涯学習環境の充実	<p>公民館管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の「学び・集い・繋ぐ」場所であり、生涯学習の拠点施設である公民館を適正に維持・管理し、個人や各種団体の生涯学習活動を支援する。 ・地域公民館が改築工事を実施する際に、集落有集会施設整備補助金による財政支援を行うことで、地域コミュニティの拠点づくりを推進する。 	生涯学習課	<p>【決算額】 3,203 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有公民館施設(6施設)の維持管理費用 ・コミュニティ施設(9施設)うち指定管理施設6施設の維持管理費用 ・神岡町公民館(2階)のトイレ洋式化工事及び2・3階のカーペットの交換工事 ハード面の改修として、トイレの洋式化及び経年汚損したカーペット床の更新を実施し、利用者に快適に利用してもらえるように施設内環境を改善した。 ・集落施設整備事業 吉田公民館、貴船公民館の新築補助金 ・コミュニティ助成事業 吉田公民館建設補助金(県経由) 	<ul style="list-style-type: none"> ・神岡町公民館の老朽化による修繕及び災害発生時に避難所となることを考慮し、未整備であったトイレの洋式化工事を実施した。また、突発的に発生した施設の小修繕については、早期の対応を取ったことで、公民館利用に支障を来たす事がないように運営できた。 ・吉田公民館及び貴船公民館の新築に伴う建築費補助を行ったことで、時代に合ったリニューアル改修の財政支援を行った。これにより、高齢者をはじめとするバリアフリー機能を有する施設に生まれ変わり、快適な環境に整備されたことから、今後の地域活動の拠点施設として、更なる利活用が見込まれる。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号16)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
生涯学習機会の提供	ライフステージにあわせた生涯学習の推進	<p>各種講座・学級の開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の学ぶ意欲に応えるため、年齢層を考慮し魅力ある講座メニューを提供し、生涯学習の普及浸透に図る。 ・市民が自ら講師となって講座を開催し、「教える人」と「学ぶ人」が一緒になって作り上げていく講座を支援し、生涯学習を始めるきっかけをつくります。 ・高齢者学級は、シニア世代を対象に学ぶことの楽しさや喜びを感じてもらうとともに、孤立感を無くし社会とのつながりを高めることを目的に開催する。 	生涯学習課	<p>【決算額】 2,265千円</p> <p>公民館講座 60件 参加者 643名 自主講座 75件 参加者 650名 高齢者学級(神岡) 11回 参加者 751名 寿大学(古川) 6教室 参加者 107名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座は、飛騨市教育方針「ふるさと意識を持ち、学び続ける人づくり」に鑑み、希薄になりつつある飛騨地域の文化・工芸や風習をテーマとし開催した。 <p>市民誰でも講座は、市民同士による「教える」側と「学び」側の双方が一体となって自主的な学びの場を運営するもので、生涯学習を始めるきっかけを提供するとともに公民館講座を担う講師の人材の育成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生き甲斐づくりや引きこもり対策を目的とした高齢者向けのコンテンツを開催し、学びの機会を提供することで、地域づくりの一員として参画や持てる技術や知識を活かした地域還元への意識高揚を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座は、ふるさとの文化・風習を学ぶワークショップを実施し、昨今忘れ去られがちな、昔からの伝統料理（朴葉寿司）や生活文化（花もち飾り）にスポットを当て、講座で学んでもらうことで飛騨の文化の理解ならびに継承に繋がった。また、更なる市民の学習ニーズに応えるべく、講座内容に係るアンケートを実施し、新たに学びたい内容の講座を開催に努め、生涯学習の推進を図りたい。 ・誰でも自主講座は、市民に広く講師役を募集し、サークル形式で講座を自主的に行ってもらい、前年並みの受講実績数となった。 ・高齢者学級の受講生から、仲間とふれあう中で、今まで知らなかった事が学ぶことができ良かったという意見や、皆勤賞がもらえてうれしかったという声が聞かれた。学級生はおしなべて出席率が高いことや、リピート受講者が多いので、今後更に魅力のある教室を企画したい。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号17)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動事業	<p>スポーツ推進委員活動事業</p> <p>地域スポーツの活性化の中心となって活動を行って行くほか、総合型地域スポーツクラブ等の支援を含め、全市的にスポーツを普及促進していく。また、研修会等への参加、スポーツ活動指導者の発掘・養成に努め、資質の向上を図る。</p>	スポーツ振興課	<p>〔決算額〕 2,019千円</p> <p>○2年任期の2年目（総勢32名） 古川町11名 河合町6名 宮川町6名 神岡町9名</p> <p>○各地区でスポーツ教室等開催 5/25 軽スポーツ体験 6/1 ふれ愛 軽スポーツ大会 8/31 市民登山（西穂山荘・西穂丸山） 12/1 ふれあいソフトミニバレーボール大会</p> <p>○各地区スポーツ行事の協力 6/1 河合町民運動会 9/7 宮川町民大運動会 9/29 山の村だいこんマラソン大会</p> <p>○研修会等への参加 6/22 飛騨地区前期研修会(下呂市) 7/7 飛騨市スポ推研修会(飛騨市) 9/1 白川郷ウォークラリー(白川村) 11/9 飛騨地区後期研修会(白川村) 11/14～15 全国スポ推研究協議会(三重県) 12/7 岐阜県スポ推研究大会(可児市) 2/14～15 東海四県スポ推研究大会(静岡県)</p>	<p>【成果】</p> <p>○代表者会議は随時開催し、4地区の情報交換を行った。 ○多くの子供たちに軽スポーツの普及ができた。 ○河合町民運動会や宮川町民大運動会及び山の村だいこんマラソン大会への委員派遣など、地域の要望による特色ある活動を行うことができた。 ○三重県で開催された全国スポ推研究協議会及び静岡県で開催された東海四県研究大会等に積極的に参加し、他県との情報交換を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○継続して研修会等に参加し、更なる推進委員の資質の向上に努める。 ○市民ニーズに合った新たな軽スポーツの普及に努める。 6/30 スタンプウォーク（警報） 10/6 ふれあいスポーツ広場（他行事）</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号18)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ団体育成事業	<p>スポーツ団体育成事業</p> <p>各スポーツ団体の組織づくりと強化を図り、競技力の向上、青少年の健全育成、スポーツ活動の普及等スポーツ推進、指導者の育成支援及びスポーツ行事への支援等を行い、スポーツによる地域の活性化を図る。</p> <p>【支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付 事務局支援 <p>【対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨市体育協会 飛騨市スポーツ少年団 山の村だいこんマラソン 飛騨シューレ 飛騨かわい剣友会 	スポーツ振興課	<p>【体育協会】〔決算額〕 3,729 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民スポーツ大会の開催。 ○飛騨地区大会・県民スポーツ大会における選手団派遣。 ○外部事務員による運営初年度、本部及び各町支部組織との連携、組織改革を進める。 ○スポーツ功労者表彰及び特別表彰。 (スポーツ功労者・特別表彰 該当なし) <p>【スポーツ少年団】〔決算額〕 709 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/26 スポ少指導者研修会 (45名) 7/23～24 スポ少リーダー研修 (80名) <p>【山の村だいこんマラソン】</p> <p>〔決算額〕 1,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/29 第21回山の村だいこんマラソン大会 (1,246名) <p>【飛騨シューレ】〔決算額〕 90 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/9 わかりやすいテーピング & ボディケア 9/21 萩原美樹子さんとボールで遊ぼう 11/9 キッズスポーツオープンデイ 11/28 川本ゆかりさんとからだで遊ぼう <p>【飛騨かわい剣友会】〔決算額〕 375 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/22 剣道練成会 98名 11/30 剣道アカデミー 75名 	<p>【体育協会の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市大会の開催を始め、飛騨地区大会及び県民スポーツ大会出場選手の激励を行った。 ○事務局機能を外部に移行した事により、旧態依然の運営からより民間手法を取り入れた運営への移行が可能となった。 <p>【スポーツ少年団の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導者向け講習会を実施し、質の向上に努めた。また、団員向けリーダー研修を実施し、横のつながり、集団行動等を学ぶ機会を設けた。 <p>【だいこんマラソンの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新体制で実行委員会を組織し開催した第21回大会は多くの方に参加して頂き盛り上がりを見せた。 <p>【飛騨シューレの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ嫌いを無くし、「スポーツは楽しい」を伝えるため、ボール等利用した体あそびを行う中で、からだの使い方を楽しく学ぶことができた。 ○指導者向けテーピング講座を実施。 <p>【飛騨かわい剣友会の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高段位者指導の下、レベルアップを図った。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号19)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ行事推進事業	<p>スポーツ行事推進事業</p> <p>市民が参加しやすいスポーツ行事の運営をスポーツ関係団体等に委託して実施することで、より多くの市民がスポーツに関心を持ち、親しみながら健康づくりを図る機会を増やしていく。</p>	スポーツ振興課	<p>【決算額】 2,313千円</p> <p>①第15回 剣道錬成会及び飛騨かわい剣道アカデミー (6/22:98名、11/30:75名)</p> <p>②FC 岐阜子どもサッカー教室(年1回) (11/9:64名)</p> <p>③飛騨市民登山(西穂山荘・西穂丸山) (8/31:25名)</p> <p>④古川町スポーツフェスティバル2019 (10/13:1,000名) 会場:飛騨市森林公園一帯 内容:体力測定、軽スポーツ、ウォークラリー、10種競技等</p> <p>⑤ふれあいソフトミニバレーボール大会 (12/1:39名)</p> <p>⑥飛騨市ふるかわ元旦マラソン2020 (1/1:1,094名)</p> <p>⑦スポーツ講演会 (12/19:31名) 演題:地域における子供のスポーツ環境整備の実践 講師:(一社)スポーツリンク白川</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>①飛騨かわい剣友会にて有段者の講師を招き、意義のあるアカデミーを開催。</p> <p>②ふれあい広場の天然芝を使用し、プロサッカー選手による指導やボール遊びを通して、幼児期からのサッカーへの関心を高める事ができた。</p> <p>③中級者向きの山で、非常に人気があり、参加者も多かった。</p> <p>④令和元年度は新たに紙飛行機飛ばし、大縄とびチャレンジなどを県レクリエーション協会に依頼し盛り上げを図った。</p> <p>⑤参加者の増員を狙い、参加条件の見直しや男性の部の新設を行った。今後は更なる募集方法の見直し等を行う。</p> <p>⑥大変多くの参加者が集まった。元旦から市民の元気や活力を引き出せる意義のある行事に定着している。</p> <p>⑦組織連携による先進事例講演会の後グループワークを行い飛騨市における課題や問題の解決策を各種団体で話し合った。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号20)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	ウォーキング推進事業	<p>ウォーキング推進事業</p> <p>市民の健康意識の高まりを踏まえて、年齢問わず、個人でも気軽に取り組むことができるウォーキングを普及させるため、令和元年度新たに飛騨クアオルト健康ウォーキングと飛騨流葉数河カントリーウオークの2事業を他課より統合。より一層のスポーツ施策の普及を図る。</p>	スポーツ振興課	<p>【決算額】 6,655千円</p> <p>【クアオルト】</p> <p>○5/27 飛騨市健康ウォーキングガイド協会設立</p> <p>○クアオルト健康ウォーキング 毎週土曜日開催</p> <p>【ノルディックウォーキング】</p> <p>○誰でも自主講座「日曜ノルディックウォーキング」 毎週日曜日開催</p> <p>○ノルディックウォーキング公認指導員資格取得講習 1名</p> <p>○ノルディックウォーキング教室 7回(5/12、5/19、6/9、6/23、9/8、10/20、11/3)</p> <p>○第1回飛騨市ノルディックウォーキングフェスタ(古川町) (11/10:約70名)</p> <p>【カントリーウオーク】</p> <p>○飛騨神岡ツデーウオーク (8/24~25:298名)</p>	<p>【成果】</p> <p>○クアオルト健康ウォーキングを軸とした健康ウォーキングガイド協会を設立設立初年度は136名の参加があった。</p> <p>○第1回となる「飛騨市ノルディックウォーキングフェスタ」を開催。市内外を問わず募集を行い、古川町内でウォーキングを行った。参加者同士で交流を行い、幅広く情報交換を行うことができた。</p> <p>○飛騨神岡ツデーウオークは特に県外からの参加者が多く、各々が自分のペースで2日間にわたりウォーキングを楽しむことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○飛騨神岡ツデーウオーク 参加者の減少が懸念されており、魅力あるウォーキングにするための対策が必要。</p> <p>○ノルディックウォーキング教室 教室の実施回数が増える一方で、参加者が伸び悩んでいる。地域によってはウォーキングコースが毎回同じであるため、工夫が必要。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号21)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ環境の充実	スポーツ施設整備事業	<p>スポーツ施設整備事業</p> <p>市民が真摯にスポーツに勤しめるよう、体育施設を適正に管理運営し、必要なニーズに応じて改修等を行うことで安心安全な体育施設を維持管理していく。また、平成30年度策定した「飛騨市スポーツ施設整備計画」に基づき、優先度の高い施設から順に改良整備、維持管理を行っていく。</p>	スポーツ振興課	<p>〔決算額〕 89,166 千円</p> <p>○体育施設管理事業 45,400 千円 39 施設</p> <p>○社会体育施設修繕料 8,902 千円</p> <p>○社会体育施設改修工事 26,630 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘体育館トレーニングセンター改修工事設置工事 ・河合町羽根体育館シャッター取付工事 ・森林公園トイレ洋式化工事 ・古川トレーニングセンター正面側溝改修工事他 <p>○社会体育施設維持修繕工事 1,210 千円</p> <p>○社会体育施設除却工事 145 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園フェンス一部撤去工事 <p>○社会体育施設看板設置工事 373 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園案内看板設置工事 <p>○一般備品購入 3,087 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘体育館トレーニング備品購入 <p>○機械器具購入費 3,418 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘体育館トレーニング機器購入 <p>○飛騨市屋内運動場整備検討委員会</p> <p>市民等から要望のある施設の整備について、各スポーツ団体等からなる委員会を設置、屋内運動場の整備に関する検討した。</p> <p>委員：8名 委員会の開催：3回</p>	<p>【成果】</p> <p>○体育施設の維持管理及び修繕工事については、突発的な修繕を除き、例年なみの経費で対応することができた。また、施設の大規模改修工事については、飛騨市スポーツ施設整備計画に基づき計画的に進めることができた。</p> <p>○運動機械器具の購入については、平成30年度に続き、市民のニーズに合った器具を導入した結果、トレーニング室の利用者が新型コロナウイルスの影響もあったが、平成30年度に比べ、約1.28倍の増加となった。</p> <p>○飛騨市屋内運動場整備検討委員会では富山県への視察研修を行いながら、様々な団体が利用でき、冬期除雪の対応がしっかりできる施設の建設について検討が行われ、市に対して助言を頂いた。</p> <p>【課題】</p> <p>○同一年代を経過した施設の老朽化</p> <p>○各体育施設の利用頻度に合わせた施設の見直し及び行政財産の整理が必要(令和元年度3施設を条例から削除)</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号22)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
図書館事業の推進	図書館の充実	<p>図書館機能の充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入等事業 利用者ニーズにマッチした選書やリクエスト本の購入に努めるとともに古い蔵書を順次更新するなど利用者にとって魅力ある図書館を目指す。 ・来館促進自主イベント事業 これまで図書館に来館されたことの無い層をターゲットとしたイベント企画・実施することで、新たな図書館利用者の掘り起こしにつなげる。 	文化振興課	<p>〔決算額〕 7,773千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書購入：4,295冊/年 <p>図書館利用者のニーズに合った図書選書に努めるとともに古い蔵書を順次更新し、魅力ある蔵書を揃えた図書館を目指した。</p> <p>利用者数：27,350名（市図書館） 11,855名（神岡図書館）</p> <p>〔決算額〕 587千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10周年祝賀記念イベントのメイン事業に加え、これまで利用者に好評であった「歴史講座」や「ジャズ演奏会」等の慣例イベントも実施した。多様なメニューのイベントを催すことで、これまで図書館に来館したことがなかった市民や利用者リピーターの来館を促すことができた。イベント実施回数は80回を数え、参加者は延べ1,707名となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館10周年の記念イベントを通じて、幅広い年代の方に来館いただき、図書館に親しんでいただけるきっかけとなった。 ・令和元年度も図書館職員の体調不良等により、欠員が生じ図書館の運営業務に支障を来たす事となった。早期の職員の補充が出来ないことから、止むを得ず時短運用を5月から3ヶ月間実施することとなったが、計画していたイベントやサービスは予定通り実施することができた。その後、一旦職員体制は落ち着いていたが、年度末をもって司書職員3名が退職することになり、令和2年度当初の図書館運営時間が再度時短運営となった。このことについて、令和元年も同じ要因で時短運用を余儀なくされたことから、抜本的な職員体制の構築を図る必要があると考え、年度が替わって直ちに検討に入り対応を行っている。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号23)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化施設・文化交流施設の充実	美術館運営・文化施設の運営	<p>飛騨市美術館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が芸術文化鑑賞に興味・関心を持てるような企画展を開催するとともに、多様な文化芸術を創造するアートセンター目指し、文化芸術に関わる展示活動・芸術活動・研究活動・人材開発面活動・記録活動などの総合的な市民の文化芸術活動に対応（支援）する運営を目指す。 ・美術館のリニューアル工事の実施を目指すために、専門委員会を設置し、目指す市美術館の基本構想並びに基本設計を策定する。 	文化振興課	<p>〔決算額〕 4,347千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨の洋画界先導者 徳永富士子展 会期：50日 入館者数：920名 ・山中和紙で魅せる風景写真 会期：46日 入館者数：1,365名 ・愛しの糸引き工女展 会期：44日 入館者数：1,325名 ・有限と無限の美 阿部浩石版画展 会期：32日 入館者数：209名 ・WS関連：8/10「紙コップのインスタレーション」、4/14～全6回、「日本画教室」、7/21～全6回、「こども美術教室」、8/16～18「彫刻立体造形教室」 ○美術館運営委員会：2回/年開催 ○美術館収集委員会：1回/年開催 <p>〔決算額〕 9,930千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館の老朽化に伴い、改修リニューアル工事を視野に入れた美術館改修検討委員会を設置し、(委員構成：芸術文化に造詣が深い方7名と市民公募枠1名の計8名)改修リニューアルへの考え方や必要な機能等について検討を重ねた。美術館の基本構想及び基本設計の策定業務に当たっては、岐阜県美術館での視察研修を経て、美術館のあるべき姿について意見交換を行うとともに市民アンケートも実施し、様々な意見を乃村工藝社が統括を行い、2回の委員会を経て策定業務を終えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度に開催した糸引き工女のプレ展覧会をベースに、更に工女に関連する調査検証を深め、ブラッシュアップを図り「企画展」として開催。歴史を考証するドキュメント性が高い内容となった。また、今回展示した資料に基づき、史実を学ぶ「セミナー」等を全6回開催（延べ164名の参加）し、工女たちに関する正しい事実を学ぶ機会を提供できた。今後の美術館の在り方については、美術鑑賞だけに留まらず、郷土の歴史や自然、生活文化を広く市民に伝え、それらを次世代に継承する美術館運営を展開したいと考える。 ・市美術館の改修リニューアル事業については、基本構想および基本設計を策定したことから、令和2年度の補正予算において実施設計費を予算措置し、さらに具体的な詳細設計業務を進めたい。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号24)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
域の歴史や文化財の保護と継承	伝統芸能と伝統文化の継承・文化振興財の調査	地域歴史資源活用事業 ①古川祭研究事業 ②江馬氏館跡整備活用事業 ③姉小路氏関連城館群(山城跡) 整備活用事業 ④埋蔵文化財発掘調査等事業 上記事業により、自分たちの住む町の歴史的価値を知ってもらい、地域への誇りや愛着心を育む。	文化振興課	① 【決算額】 2,367千円 古川祭の文献等の収集に努め、歴史的背景を調査・研究し、本年度の調査成果をまとめたものを紀要として発刊した。 ② 【決算額】 1,626千円 昨年策定した保存活用計画書に基づき適切な施設運営に努めるとともに、昨年市販化した「江馬・室町饗応膳」の普及を目指し広くPRを行った。 ③ 【決算額】 1,664千円 野口・小鷹利・向小島3城跡での発掘調査説明会、恒例の歴史講座を実施した。また、調査結果を踏まえた山城の想像復元イラスト2城分を作成しHPに公開した。 ④ 【決算額】 14,175千円 野口・小鷹利・向小島3城跡で発掘調査を実施したところ、礎石や柱穴跡の他に天目茶碗やかわらけの欠片など多数の出土遺物を確認した。これまで山城は詰城施設と考えられ、戦国時代後半になって山城にも居住機能が備えられるようになったと考えられていたが、今回の発掘調査により、それよりも半世紀も古く居住機能の痕跡を発見したことから、これまでの日本の城郭史を考える上で貴重な成果を得たと高い評価を受けた。	・地域歴史資源活用事業を開催したことにより、山城は飛騨市にとって重要な歴史遺産であると認識されつつあり、徐々にではあるが郷土への誇りや愛着心の醸成に繋がってきている。 江馬氏関連では、現在県史跡の「傘松城跡」を国史跡「江馬氏城館跡」に追加したいと考えている。姉小路氏関連については、更に総合調査を進め、国史跡指定を目指したい。 これからもHPのみならず、YouTubeやSNSでの情報発信を積極的に行うとともに市民の皆さんと活用について考える機会を作り、地域にある歴史資源を基に飛騨市らしい個性的な町づくりを進めたい。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号25)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和元年度の目標	担当課	令和元年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
心を豊かにする文化芸術の推進	文化や芸能にふれあう機会 文化芸術関係団体の育成と連携	<p>地域文化振興補助事業</p> <p>①文化振興補助事業 文化芸術の振興を図るため、文化・芸術活動を行う団体が実施する企画事業に対し、補助金を助成し文化振興を図る。</p> <p>②文化団体補助事業 市民作家の作品発表の場として毎年「市美術展」を開催。感性豊かな作品を一般から募集することで、市内の文化芸術活動を促進し、ひいては市内の文化芸術への機運の向上を図る。</p> <p>③荒垣秀雄氏の顕彰事業 (実行委員会に補助支援)</p>	文化振興課	<p>①【決算額】 20,538千円 市民に優れた文化や芸術に触れ合う機会を提供するため、文化関係団体や市民主体で催される文化活動を支援した。(大きな事業としては、文化交流センター・船津座の興行イベントが該当)また、郷土愛を育む文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成を目的とした文化芸術活動に補助金を支援した。 ・NP0ひだ文化村(文化交流センター) 11,678千円 延べ来場者8,878名 ・船津座実行委員会事業 6,007千円 延べ来場者1,147名 ・その他6事業 2,480千円 延べ来場者1,455名</p> <p>②【決算額】 4,042千円 市文化協会への活動補助と市美術展開催補助事業が主で、感性豊かで優れた作品を広く一般に募集することで文化芸術への機運の醸成を図った。 出展数：191点、来館者数：839名</p> <p>③【決算額】 141千円 顕彰石碑建立の機会に恵まれたことを契機に功績を後世に語り継ぐ目的で第2回目の「作文コンテスト」を実施した。(作品数：158)</p>	<p>・補助申請されたイベントは、市民が気軽に芸術文化に親しんでもらえる機会であるとともに、市民の芸術活動の貴重な発表の場や伝統文化の継承を推進する場でもあり、芸術文化面での地域活性化の一助となっている。来場者の固定化も感じられるので、新規来場者が増加するような工夫や、幅広い層の市民が来場するためのPRが必要と考える。</p> <p>・市文化協会では、市内における芸術文化の発展を促進するために、各種団体を取りまとめながら、文化事業を実施されている。市展の開催については、市全体の補助事業の見直しをする中で、新年度からは市の直営事業とするが、これまでのように市文化協会から委員を選出してもらい委員会を結成し運営していきたい。</p>	A